

諫早市 政策要望

令和2年7月



唐比ハス園のハス

諫早市の市政推進につきましては、かねてより格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本市は、古くから県内における交通の要衝として大きな役割を果たしており、特性の異なる3つの海と県下最大の穀倉地帯である諫早平野、さらには県内随一の工業団地を有するなど、県央の拠点都市としてこれまでに着実に発展してまいりました。

平成28年3月には、新たな10年間を見据えた本市の「第2次諫早市総合計画」を、本年3月には「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本市が有する多様な地域資源や地域力を活かした創造的な活動を展開することにより、雇用を創出し、次代を担う子どもを育て、新たな魅力や価値、活力を生み出し、少子高齢化・人口減少対策等の戦略的な推進に取り組んでいるところでございます。

今後、市勢の更なる発展を図り、長崎県央の中心都市として、これからの時代にふさわしいまちづくりを推進するためには、九州新幹線西九州ルート of 整備促進と諫早駅周辺整備、広域道路網の整備、中心市街地の活性化など、様々な施策を重点的に講じていく必要があります。

つきましては、このような本市の状況をご賢察いただき、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月

諫 早 市 長 宮 本 明 雄

諫早市議会議長 田 川 伸 隆

要 望 項 目

番号	項目一覧	頁	第2次諫早市総合計画 における位置づけ 《基本政策》
1	諫早駅周辺整備事業への協力と支援について	1	快適なまちづくり
2	道の駅の整備について	3	地域資源を活かした 観光・物産
3	有明海の再生(諫早湾の水産振興)について	5	地域特産を活かした 農林水産業
4	新型コロナウイルス感染症対応について	7	安心なまちづくり
5	九州新幹線西九州ルート of 着実な整備について	9	快適なまちづくり
6	農地整備事業の整備促進について	11	地域特産を活かした 農林水産業
7	地方バス生活交通路線維持対策について	13	快適なまちづくり
8	国道207号多良見町佐瀬拡幅の延伸について	15	快適なまちづくり
9	幹線道路の整備促進について	17	快適なまちづくり
10	本明川ダム建設事業に伴うダム周辺地域振興について	19	安全なまちづくり

1. 諫早駅周辺整備事業への協力と支援について

新幹線の開業に向けて、新幹線駅として新たに整備される諫早駅を中心に、更なる交通結節機能の強化と利用者の利便性の向上を目指した都市基盤の再整備を行うため、本市が施行する諫早駅周辺整備事業についてご協力、ご支援いただきますよう、次のとおり要望します。

- (1) 諫早駅周辺の都市基盤の再整備を図る諫早駅東地区第二種市街地再開発事業への協力と支援
- (2) 県央地域の広域公共交通の拠点として、鉄道とバス利用者の利便性の向上に資する諫早バスターミナル機能の駅前広場への再整備の協力と支援
- (3) 長崎県の地方機関再編に伴い新たに整備が予定される（仮称）県南地域事務所新庁舎の先行取得用地への建設促進

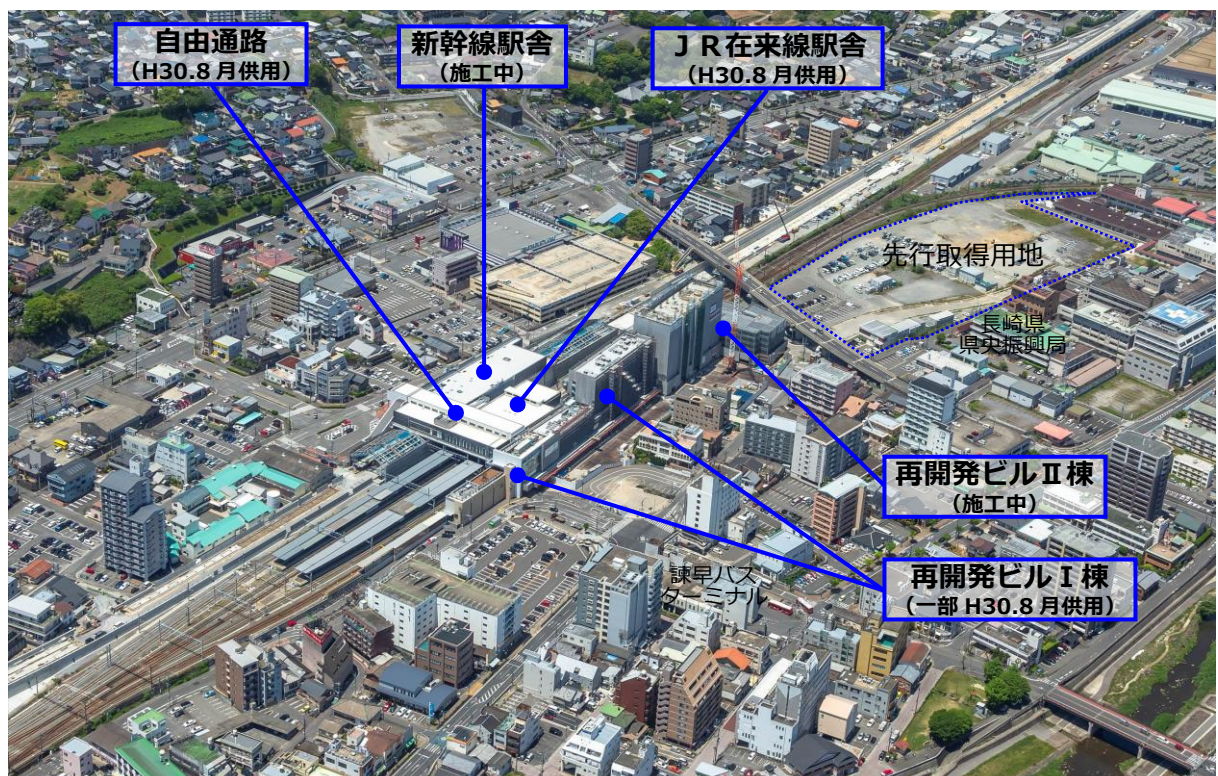
【理 由】

本市は、JR長崎本線、JR大村線、島原鉄道、長崎県営バス、島鉄バスと、地域交通の結節点として古くから発展してきました。特に、諫早駅の周辺は、JR諫早駅をはじめ諫早バスターミナル等の公共交通機関が集中するなど、県央地域の広域公共交通の拠点として、日頃から人や車の往来が非常に多い状況にあります。

そこで、令和4年度の開業に伴って大幅に増加が予想される諫早駅及び諫早バスターミナル等の利用者に対応し、新幹線を最大限に活用して広域的な発展につなげていくためには、諫早駅周辺における交通結節機能の更なる強化を目指した各種都市基盤の再整備とアクセス道路等の整備・改良が必要不可欠であります。

つきましては、県央地域の広域的発展に資する諫早駅東地区第二種市街地再開発事業をはじめ、交通結節機能の更なる強化を目指すための諫早バスターミナル機能の駅前広場への再整備やターミナル移転後の跡地を利用した本明川河川敷へのアクセス道路の拡幅整備、更には、長崎県の地方機関再編により新たに整備が予定される（仮称）県南地域事務所新庁舎の、市が先行取得した用地への建設促進につきまして、特段のご協力、ご支援をいただきますよう要望します。

新幹線効果をも高めるための「諫早駅周辺整備事業」



諫早駅周辺整備工事現況 (諫早駅南東方向から) 令和2年5月撮影

2. 道の駅の整備について

道路利用者の利便性の向上を図り、安全で快適な道路交通環境を形成するため、諫早市が国道251号沿いで整備を計画している道の駅のうち、道路利用者のための休憩施設と道路情報発信施設を、道路管理者として整備していただきますよう要望します。

【理由】

道の駅については、現在、県内で11駅が整備されていますが、交通の要衝である本市には道の駅がなく、市民から整備を求められています。

本市は、「第2次総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、地場産品販売や住民の交流による地域活性化の拠点としての道の駅を、令和6年度までに整備することを目標に定め、調査業務等に取り組んできました。その結果、飯盛地域の国道251号沿い、「農産物直売所フレッシュ251（2号店）」が立地している敷地周辺で道の駅を整備することとし、今年度、基本構想及び基本計画の策定作業に着手したところです。

道の駅の計画地である飯盛地域及び隣接する有喜地区は、県営畑地帯総合整備事業で大規模な区画整理、畑地かんがい事業を行った成果もあり、ばれいしょ・にんじん・カーネーション等の県内有数の産地となっております。今回整備する道の駅は、地場産農水産物の販売による所得向上の場になるとして、地元生産者からの期待も非常に高まっております。

国道251号は、市民生活のみならず、長崎～島原半島間の観光・物流のために利用されることも多く、直近の「全国道路・街路交通情勢調査」によると、飯盛地域においては1日あたり約2万台（うち大型車は約2千台）が通行しています。しかし、道路利用者が24時間無料で利用できる休憩施設としては、南島原市に「道の駅みずなし本陣ふかえ」、雲仙市国見町に簡易パーキング「尾茂浜憩いの広場」があるのみで、計画地周辺にはなく、交通安全対策の上でも、この地に道の駅を整備することが必要であると考えております。

また、国道251号は、観光・物流に利用されるだけでなく、災害時の第一次緊急輸送道路にも指定されているため、通行規制等の道路情報を提供する施設も必要であると考えます。

つきましては、地域の振興に寄与し、安全で快適な道路交通環境を形成するため、本市が国道251号沿いで計画している道の駅整備において、道路利用者の休憩施設となる駐車場とトイレ、道路情報発信施設を、道路管理者として「一体型」で整備していただきますよう要望します。



計画地は圃場整備区域の中に位置する



小型車、大型車ともに一定の交通量がある

【直売所フレッシュ 251】



諫早産の野菜・果物・花、橘湾の魚等を販売



特産のばれいしょを使った手づくりコロッケが人気



収穫祭やミニイベントには市内外から多く来店



活動が評価され「ながさき農林業大賞」県知事賞受賞

3. 有明海の再生(諫早湾の水産振興)について

有明海における環境変化の原因究明のための調査並びに漁場環境の改善のための調査及び現地実証により有明海再生への道筋を明らかにするとともに、水産資源の回復、海域環境の改善等を図ることを目的とし、関係4県が協調して取り組む広域的な対策等について、地元の意見が十分に反映された事業が早期に実施されるよう、引き続き特段のご配慮をいただきますよう要望します。

【理 由】

諫早湾内における漁業におきましては、中心的な漁業種類であったタイラギ漁が平成4年の水揚げを最後に、資源の急激な減少により休漁となっており、現在に至るまでその状況が続いております。

このような状況の中で、地元漁協では諫早湾の特性を活かしながら、アサリやカキの養殖に取り組み、「小長井あさり」、「ゆりかごあさり」、「小長井牡蠣」、「華漣」など有明海を代表する地域ブランド品を生産し、漁業経営の安定に努めているところです。

カキ養殖においては、県等の支援により地域水産業を牽引する重要な漁業へと発展してきましたが、高水温等の影響により水揚量が減少した年もあり、特に昨年度は大雨による淡水流入や台風等の影響によりカキの大量斃死が発生したことで、カキの中間種苗購入に対して緊急的に支援を頂いております。

また、アサリ養殖におきましても、天然の着底稚貝が確認されるものの、その多くは漁獲サイズまで成育できていないことや、国内資源の減少により放流用の良質な種苗の確保が困難な状況で、水揚量の回復には至っておらず、漁業経営を取り巻く環境は依然、厳しい状況にあります。

諫早湾を含む有明海の再生に向けては、有明海沿岸の長崎県、佐賀県、福岡県、熊本県の4県が協調した取組を実施されておりますが、漁業者の高齢化も進んでいることから、早急な対策が必要と考えております。

つきましては、有明海の再生や諫早湾の水産振興を図るため、「有明海及び橘湾の再生に関する長崎県計画」の別表6に記載されている事業の実施について、引き続き国へ強く働きかけていただきますよう要望します。



カキ中間種苗搬入状況



華漣（かき日本一決定戦王者）



垂下式ゆりかごあさり

有明海及び橘湾の再生に関する長崎県計画

別表6 その他海域環境の保全及び整備に関し今後国・県で協議の上実施を検討する事業

事業概要	事業実施箇所
着定基質工	有明海沿岸
リサイクル品や天然素材（間伐材、貝殻等）を用いた魚礁設置	有明海沿岸
小規模藻場造成 沈船魚礁 等	有明海沿岸
承水路整備 （作濬）	諫早市小長井町沖
覆砂	諫早市小長井町沖、雲仙市瑞穂町沖 雲仙市国見町沖
潮流制御施設 （潮流制御ブロック）	諫早市小長井町沖
大型魚礁整備	雲仙市国見町沖

4. 新型コロナウイルス感染症対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の兆候が把握されたときへの対応について、保健所機能の一層の充実を図られますよう要望します。

【理 由】

新型コロナウイルス感染症については、これまで県内において、30名^{*}の感染者が確認され、うち1名^{*}の方が亡くなられております。

この間、長崎県におかれましては、対策本部会議を開催し、県としての方針を明示するとともに、度重なる補正予算を通じて、検査体制の強化、保健衛生用品の調達等に取り組まれていることを心強く感じております。

また、各保健所においては、いわば最前線として、本庁からの応援職員を配置しながら、窓口対応、電話相談、濃厚接触者の調査等に取り組まれていることに対し、感謝申し上げます。

本市を含む2市3町を管轄している県央保健所管内における感染者は、これまで2名^{*}にとどまり、感染の拡大や医療機関の逼迫といった状況は、確認されておられません。

一方、年度当初の時点においては、保健所への電話がつながりにくい等の意見が市民から寄せられており、県央保健所におかれましても、業務過多の状況が推察されるところです。

諫早市内では、九州新幹線西九州ルート、諫早駅周辺整備、地域高規格道路「島原道路」のほか、民間工場の増設など大規模工事が進められており、これらの工事従事者には県外出身者が多数含まれ、当該事業所における集団感染に加え、市中感染の有無を注視していく必要があります。

つきましては、今後、新たな感染拡大の兆候が把握されたときへの対応として、これまでの知見を活かし、行政間の連携はもとより、地域の医師会、関係医療機関との協力体制を堅持する上でも中心となります保健所機能の一層の充実を図られますよう、要望します。

※令和2年7月13日現在の状況

帰国者接触者相談センター相談件数・県内検査実施件数

(令和2年7月5日時点)

保健所毎	相談件数 (累計)	前週比	検査件数 (累計)	前週比
長崎市	3,398	+96	1,318	+89
佐世保市	3,225	+80	739	+65
西彼	118	+2	170	+15
県央	2,411	+26	535	+17
県南	532	+9	268	+9
県北	181	+10	93	+7
五島	21	+0	62	+2
上五島	71	+2	15	+2
壱岐	207	+5	165	+4
対馬	141	+4	12	+0
県外	-	-	36	+3
その他※	717	+12	6	+0
合計	11,022	+246	3,419	+213

※相談件数のその他には、県庁（土日のみ）を計上

(出典：長崎県ホームページ)

※クルーズ船に係る検査は含まれていない。

※退院検査のための検査は含まれていない。

5. 九州新幹線西九州ルート of 着実な整備について

九州新幹線西九州ルート of 整備促進により、経済発展と地域活性化を図るため、次の事項について、国及び関係者に対して強く働きかけていただきますよう要望します。

- (1) 令和4年度の武雄温泉・長崎間の開業を着実にを行うこと。
- (2) 開業時における対面乗換方式（リレー方式）を固定化することなく、国の責任において、山陽新幹線への直通運行に向けた全線フル規格による整備を行うこと。
- (3) JR九州に対して暫定開業の時期や運行計画について早期に示すよう働きかけるとともに、利用料金など利用者への運行サービスの低下が生じないよう調整を図ること。
- (4) 整備新幹線の財源として、所要の国費（公共事業費）を確保するとともに、地方財政措置を講ずること。

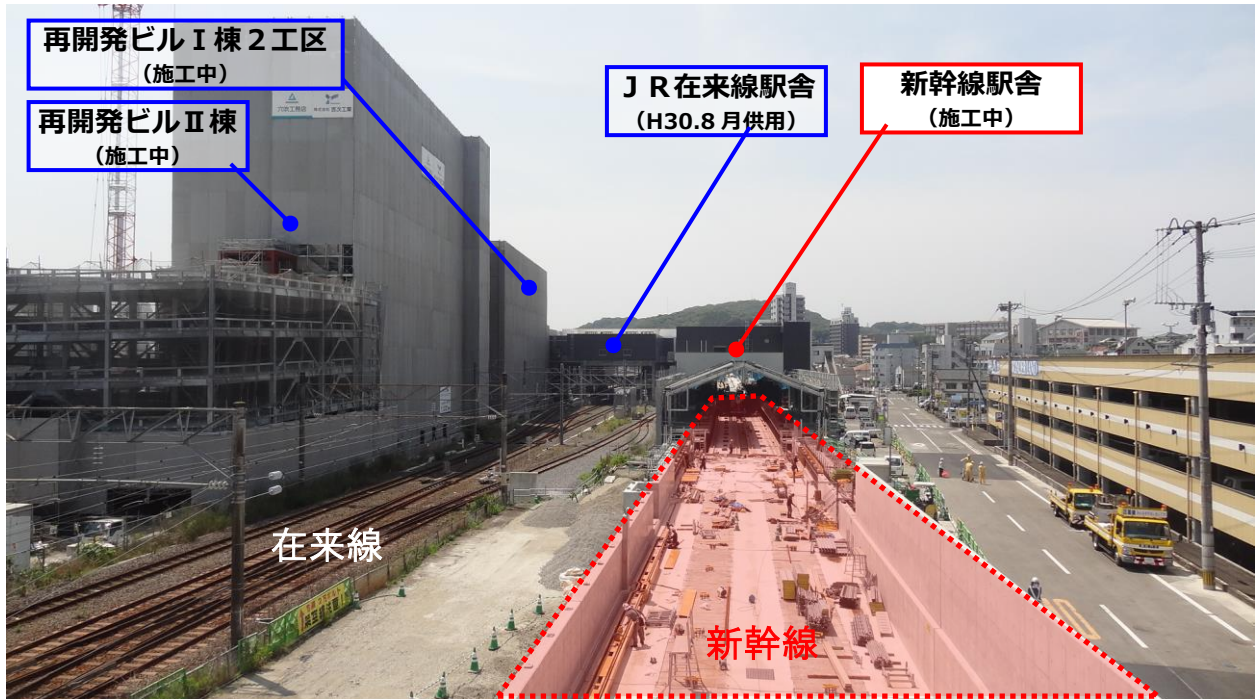
【理由】

九州新幹線西九州ルートは、国土の均衡ある発展と九州地区 of 一体的飛躍に大きく貢献する重要な交通軸となるもので、西九州地域の経済浮揚と地域発展には特に必要不可欠な整備路線であります。また、新幹線は災害時においてもいち早く復旧し復興の原動力になるなど、地域のインフラとして重要な役割を果たします。

本市といたしましては、新幹線 of 開業効果が最大限発揮されるように、地域の魅力を活かしたまちづくりに取り組んでいることから、現在フル規格で整備が進められている「武雄温泉・長崎間」 of 令和4年度の着実な開業と、同区間のインフラを十分に活用できる最善の選択肢として、全線フル規格による西九州ルート of 整備を要望します。

つきましては、上記事項について国に対して強く働きかけていただきますよう要望します。

着々と整備が進む諫早市内の状況



諫早駅付近の状況（諫早駅北側から）



宇都橋りょう工事（諫早市宇都町付近）

令和 2 年 6 月 撮影

6. 農地整備事業の整備促進について

農地の基盤整備は、担い手農家への農地集積を促進し、経営規模の拡大に大きな効果を発揮します。

令和2年度以降におきましても、農業農村のもつ多面的機能を保全し国土強靱化を図るとともに、農業生産性の向上や農業経営の安定につながる農地整備事業の促進のため必要となる予算を確保していただきますよう要望します。

- (1) 有喜南部地区の農地整備促進《継続》
- (2) 正久寺地区の農地整備促進《継続》
- (3) 宇良田井原地区の農地整備促進《継続》

【理 由】

(1) 有喜南部地区の農地整備促進《継続》

有喜南部地区は、東西に走る国道251号沿いの橘湾に面した畑作地帯で、古くから馬鈴薯や人参などの産地となっております。しかしながら、耕作道路や区画も狭小であるため耕作放棄地も多く、荒廃農地が点在しており、今後も農業従事者の高齢化や後継者不足によりその面積は拡大する傾向にあったことから、平成26年度に国の事業採択を受け、農地整備事業を実施しており、平成30年度までに62haの区画整理を完了し、昨年度から畑地かんがい工に着手しております。

また、隣接する飯盛地区では、県営畑地帯総合整備事業が完了し、県内有数の生産性の高い団地を形成しています。そのため、本地区においても担い手への農地集積及び規模拡大を図り、農業所得の向上につなげるためにも、計画的な事業進捗が必要であります。

(2) 正久寺地区の農地整備促進《継続》

正久寺地区は、多良岳の麓に面した南斜面の畑作地帯で、古くから玉ねぎなどが作付けされる産地です。しかしながら、農業用施設の未整備や区画も狭小であるため耕作放棄地も多く、今後も農業従事者の高齢化や後継者不足によりその面積は拡大する傾向にあるため、平成29年度に国の事業採択を受け、昨年度から区画整理工事に着手しております。

本地区においても、農地整備事業により担い手への農地集積及び規模拡大を図り、農業所得の向上につなげるため計画的な事業進捗が必要であります。

(3) 宇良田井原地区の農地整備促進《継続》

高来町の宇良田井原地区は、諫早湾の背後地に開けた水田地帯で、昭和38年に土地改良事業が行われてから56年が経過します。近年は、施設の老朽化や排水不良、作土不足等により、農地の生産性が低下しているところです。

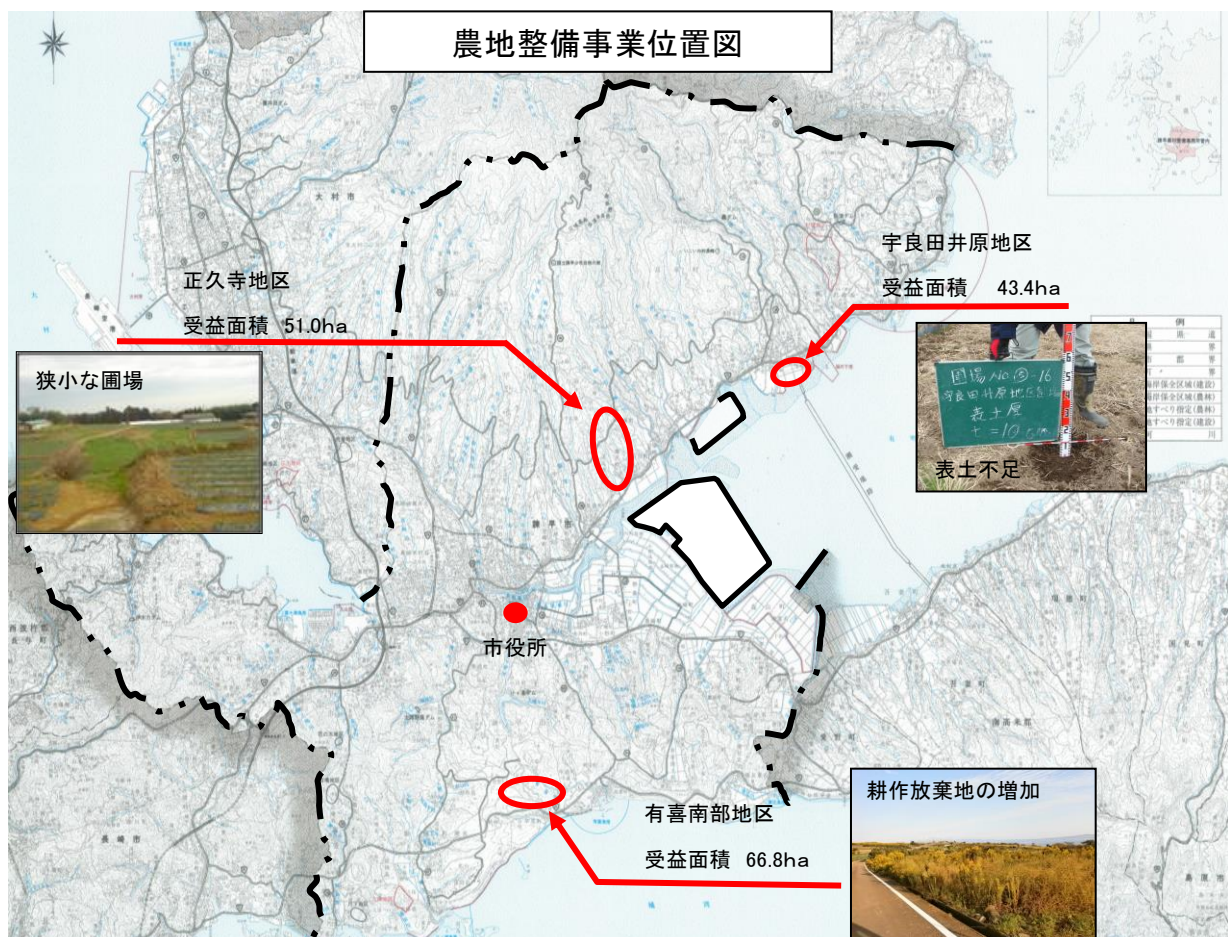
そのため、平成26年度に国の事業採択を受け農地整備事業を実施しているところであり、土地改良区を中心とした農業経営体を形成し、日本名水百選に認定された轟溪流の清水を使った作物として付加価値を高め、併せて農作業の効率化

を図ることで農業経営の安定化を目指していることから、計画的な事業進捗が必要であります。

つきましては、安定した営農活動を実現し、地域営農の振興と担い手を中心とした新しい営農の構築を確立するため、今後もこれらの事業に継続してご支援いただきますよう要望します。

(事業概要)

地 区	有喜南部	正久寺	宇良田井原
所 在 地	早見町・天神町・ 中通町	正久寺町・長田町	高来町
事 業 名	農地整備事業 (耕作放棄地型)	水利施設等保全 高度化事業 (畑地帯担い手育成型)	農地整備事業 (経営体育成型)
受益面積	66.8 h a	51.0 h a	43.4 h a
事 業 費	3,150,000 千円	1,703,000 千円	521,000 千円
事業年度	H26～R4 年度	H29～R4 年度	H26～R4 年度
R元年度末 進 捗 率	90%	34%	80%



7. 地方バス生活交通路線維持対策について

市民生活の移動手段である公共交通を守るため、県単独補助制度の見直し及び市が講じる施策について、支援していただきますよう要望します。

【理 由】

乗合バス事業の規制緩和に伴う国庫補助制度の改正や、マイカーの増大、少子化の影響などに伴うバスの利用者数の減少傾向により、多くの地方バス生活交通路線が赤字となっています。このような中、必要な路線を維持し、市民の移動手段を確保するには、地元市の支援が必要不可欠となっています。

本市では、長崎県交通局並びに島原鉄道株式会社に対し、国による生活交通路線維持費補助、県による生活バス路線運行対策費補助に加えて、市単独で地方バス路線維持単独補助を行っているところですが、大きな財政負担となっております。

つきましては、平成15年度から実施されている県の補助制度について、県民の移動手段を守るという立場から、採択要件である輸送量、収支率等の下限を引き下げるなど、より実効性の高い制度となるよう見直ししていただきますよう強く要望します。

年度別地方バス路線維持費補助金額一覧

(単位：千円)

	生活交通路線 維持費補助金	生活バス路線運行 対策費補助金	地方バス路線維 持単独補助金	計
平成20年度	9,505	30,795	187,240	227,540
平成21年度	3,486	24,507	184,413	212,406
平成22年度	6,459	33,699	169,354	209,512
平成23年度	5,855	33,324	165,915	205,094
平成24年度	5,158	27,006	155,246	187,410
平成25年度	4,994	28,531	166,293	199,818
平成26年度	12,079	31,146	185,881	229,106
平成27年度	11,216	29,058	168,791	209,065
平成28年度	22,667	31,394	174,462	228,523
平成29年度	26,270	32,354	172,686	231,310
平成30年度	24,547	32,138	151,672	208,357
令和元年度	22,294	21,853	169,870	214,017



自家用車がない市民にとって買い物や通院に欠かせない交通手段となっている。
(諫早局前バス停)



路線バスは通勤や通学にとって、重要な役割を担っている。(市役所前バス停)

8. 国道207号多良見町佐瀬拡幅の延伸について

諫早市多良見町佐瀬地区の沿線住民の生活基盤であり、地域基幹産業を支える幹線道路の早期事業化を要望します。

【理由】

国道207号は、佐賀県を起点とし、諫早市を經由し時津町に至る幹線道路であり、佐賀県と長崎県を結ぶ主要路線として、その周辺地域における日々の暮らしや産業を支え、社会・経済の発展に大きな役割を果たす路線であります。また、大村湾絶景ライドサイクルツーリズムなど観光ルートや物流ネットワークとして、安全で円滑な道路交通の確保と大規模災害時等における代替補完路としても大きな役割を持つ主要幹線道路であります。

しかしながら、本路線の諫早市多良見町佐瀬地区については、狭小な区間が連続し見通しも悪いことから、基幹産業である「みかん」の収穫時期などは大型車の交通量の増大に伴ない、幹線道路としての機能を低下させ、地域住民の生活にも支障を来たしていた状況でありました。

このような交通状況であったことから、長崎県において諫早市多良見町舟津から佐瀬間の延長約2.5kmを佐瀬拡幅事業として、平成24年度から事業着手され、令和2年度完成予定で順次整備を進めていただいているところであり、引き続き、諫早市多良見町佐瀬地区から長与町岡郷地区までの延長約6.0kmの未整備区間の整備を行うことで、佐瀬拡幅の事業効果を高めるとともに、更なる地域利便性の向上と、災害時の代替補完路の機能が高められ、利用者の安全で円滑な道路交通の確保など重要な役割を果たすことができます。

なお、佐瀬地区の地域住民は、隣接する長与町岡郷地区の沿線住民の皆様と協力し、更なる事業促進を目指し、行政の垣根を越えて「国道207号諫早市佐瀬・長与町岡郷間整備促進協議会」を新たに設立されました。本協議会では、要望区間の整備が行政界を跨ぐこととなりますが、両地域の沿線住民は手を取り合い、スクラムを組んで整備に協力して行くなど、事業の延伸と早期事業化を熱望されております。

このような状況をご賢察いただき、本幹線道路の整備による基幹産業の流通ルートの確保、地域間交流の促進及び災害発生時の代替補完路の確保など重要な役割を果たすことができますので、本区間の早期事業化、早期整備に、より一層のご高配を賜りますようお願いするとともに、引き続き、持続的な道路関係予算についても必要な財源を確保していただきますよう要望します。

国道207号多良見町佐瀬拡幅の延伸

●多良見町佐瀬地区から長与町岡郷地区の区間は、狭小な区間が連続し見通しが悪いことから、「みかん」の収穫時期には大型車の交通量の増大に伴い、幹線道路としての機能を低下させ、地域住民の生活に支障をきたしている。



◎現在整備中の佐瀬拡幅の事業効果、基幹産業の流通ルートの確保や災害時の代替補完路の機能がさらに高まり、また、諫早市と長与町の住民の地域間交流の促進が期待される。



9. 幹線道路の整備促進について

県央地域の中心都市である本市の都市基盤整備の基礎となる幹線道路の早期整備を、次のとおり要望します。

- (1) 一般国道207号の改良整備促進
 - ① 天満町～泉町間の電線共同溝
 - ② 長田町の歩道整備
 - ③ 正久寺町～猿崎町間の東長田拡幅
 - ④ 猿崎町～高来町金崎間の東長田拡幅の延伸
- (2) 一般県道諫早外環状線の整備促進
 - ① 長野町～栗面町（諫早南バイパス線）の新設改良
 - ② 西栄田町～小豆崎町（破籠井鷲崎線）の新設改良
- (3) 県道の整備促進
 - ① 主要地方道諫早飯盛線（土師野尾ダム入口交差点～飯盛町山口）の歩道整備
 - ② 一般県道富川溪線（富川町）の道路改良
 - ③ 一般県道久山港線（久山町）の道路改良
 - ④ 一般県道畦別当伊木力線（多良見町山川内）の新設改良
 - ⑤ 主要地方道有喜本諫早停車場線（松里町）の道路改良
 - ⑥ 一般県道田結久山線（飯盛町里～飯盛町古場）の道路改良
- (4) 一般国道57号の整備促進
 - ① 森山拡幅（雲仙市愛野町～諫早市小野町）
 - ② 地域高規格道路「島原道路」（諫早市森山町～諫早市長野町）
- (5) 一般国道34号の整備促進
 - ① 大村諫早拡幅（大村市与崎交差点～諫早市花高入口交差点）
 - ② 諫早北バイパス（本野入口交差点～小船越トンネル交差点）の4車線化

【理 由】

(1) 一般国道207号は、地域の振興において重要な路線ですが、未だ幅員狭小区間や歩道未整備区間があり早期整備が必要です。また、都市景観の向上のための電線類地中化などの整備も必要です。

長田バイパスについては、平成22年11月に小豆崎町から正久寺町区間が完成しており、東長田拡幅（正久寺町～猿崎町）の早期整備及び、猿崎町から高来町金崎（干拓堤防道路入口交差点）までの延伸が望まれている状況です。

(2) 一般県道諫早外環状線（長野町～栗面町）は、島原半島地域と県央地域との連携強化を目的とした地域高規格道路「島原道路」の一部であり、県南地域の広域交通ネットワークを構築することと、環状道路として、諫早市中心部の渋滞緩和のた

めにも早期整備が望まれています。

- (3) 県道は重要な幹線道路であり、その整備は県央地域の広域交通網の形成に必要不可欠です。また、西諫早産業団地への企業進出が完了したことで、国道34号からのアクセス道路となる県道久山港線の早期整備が望まれている状況です。
- (4) 一般国道57号は、長崎・諫早・熊本・大分を結ぶ幹線道路であり、県南地域、県央地域及び九州横断自動車道等を結び、産業経済の発展に極めて重要な路線であり、森山拡幅の早期整備、地域高規格道路「島原道路」の早期整備、及び空白区間である小野町から長野町の早期事業化が望まれている状況です。
- (5) 一般国道34号は、長崎・諫早・大村・佐世保方面を結ぶ幹線道路であり、県央地域の地域振興施策に欠かせない重要路線です。大村諫早拡幅の（大村市与崎交差点から諫早市花高入口交差点）区間は朝夕の交通渋滞により、慢性的な交通混雑が常態化していることから、交通結節点としての機能が阻害されているため、早期整備が望まれています。

また、諫早北バイパス沿線では、令和元年11月に開店した大型商業施設を含む大規模住宅団地が事業中であり、令和4年度には九州新幹線西九州ルートの開業も予定され、周辺環境の変化により交通量の大幅な増加も見込まれることから、交通結節点としての機能が阻害されることが懸念されるため、大村諫早拡幅と合わせた本区間における4車線化の早期整備が強く望まれている状況です。

これらの幹線道路の整備により、県央の交通拠点として、地域経済の一体化や活性化、災害時の避難路や輸送路の確保など重要な役割を果たすことができます。

つきましては、これらの幹線道路の早期整備を強く要望します。



10. 本明川ダム建設事業に伴うダム周辺地域振興について

本明川ダム建設事業は、本明川の抜本的な治水対策及び維持流量を確保するため、令和6年度の完成を目標としております。

また、本明川ダムは、水源地域対策特別措置法に基づき、平成28年3月に「指定ダム」とされ、平成31年3月に「水源地域」の指定を受け、今後、「水源地域整備計画の決定」を行い、ダム建設事業の進捗に併せて、ダム周辺地域振興整備計画を積極的かつ確実に推進する必要があります。このため下記事業は、当該整備計画の基幹事業であるため、その実施にあたりましては特段のご協力とご配慮をいただきますよう要望します。

【理 由】

本明川ダム建設事業は、平成29年2月に「本明川ダム建設事業に伴う損失補償基準協定書」が締結され、現在、用地取得が順調に進捗しております。

また、本明川ダム周辺地域振興策につきましても、同年2月に本明川ダム建設対策協議会から振興策の要望書が提出され、地域振興計画策定に向け、国、県、市において内容を検討しております。

この振興計画は、地域住民の生活の安定及び福祉の向上並びに地域の健全な振興が目的であり、ダム建設事業により影響を受ける地域の生活環境や産業基盤等の整備に必要不可欠となっております。

つきましては、今後策定されるダム周辺地域振興整備計画に基づき、すみやかな事業実施についてご協力ご支援をいただきますよう要望します。

- (1) 一般県道富川溪線（平地蒔バス停から富川バス停区間）の改良
- (2) 富川溪谷周辺の河川公園整備



(2) 富川溪谷周辺の
河川公園整備

(1) 一般県道富川溪線
の改良

※本明川ダム完成イメージ図

本明川ダム建設事業に伴うダム周辺地域振興要望箇所位置図

